

平成24年度事務事業評価シート

平成23年度より行政評価推進事業へ統合

◎基本情報

事務事業名	「市民参加型事業仕分け」実施事業		担当部署	企画総務部 企画課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市自治基本条例 第25条 鳴門市行政評価外部評価委員会設置要綱	
基本政策(大項目)	5	分権社会に向けた新しい鳴門づくり		事業期間	開始
政策(中項目)	2	行政・品質向上都市 なんと	終期		
(小項目)		行財政運営			
施策	2	効率的・効果的な行財政運営の推進			
基本事業	2	行政改革の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 総合計画に基づく事務事業のうち、事業の見直しが必要であると考えられる事務事業および行政評価推進検討会で行政評価の対象とすべきと判断された事務事業						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	行政資源の有効活用や事業に対する行政の説明責任、職員の意識改革を推進し、市民の方に参加したいと思われる市民参加の外部評価委員会の開催を行うこと。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		事業仕分けの必要性(傍聴者アンケート)	65	65	65	65	65	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	事業仕分けを、市民参加の外部評価として行政評価に位置付けるとともに、市民参加の機会を拡大するため、新たに市民判定員制度を導入するなど、事業の再構築を図った。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 外部評価対象事業数	10	8	8	8	8	件
	2 市民判定員数	0	13	20	20	20	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	事業仕分けの必要性(傍聴者アンケート)	65	71	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		109.2	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位
事業費 (財源内訳の合計)	国	0	0	0	0	0	千円
	県	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	135	0	0	0	0	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		3,259	0	0	0	0	人
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.5	0	0	0	0	
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		3,394	0	0	0	0	千円

平成23年度より行政評価推進事業へ統合

【事務事業名：「市民参加型事業仕分け」実施事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	平成24年度は行政評価対象事業数を123事業まで拡大し、より多くの事業の中から外部評価対象業を外部評価委員会で選び、外部の視点での事業評価をすすめる。また、より多くの市民の方に参加していただけるように、市民参加の外部評価委員会の開催日時を日曜日から平日の午後2回開催へと変更した。
----------------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	平成23年度より行政評価の外部評価という位置づけに変更されている。行政評価は自治基本条例25条に記載されているとおり、本市に必要不可欠な事業となっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 効率的・効果的な行財政運営の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等	さらに市民参加を進めるため、平成24年度の実施結果を検証した上で、開催日程、会場、参画の手法などについて検討する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成25年度 ▼ 4月 ▼			
	どのように改革するのか	傍聴者、市民評価員のアンケート結果を参考に外部評価委員会の開催を検討したい。			